



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.73



10月

発行 / 社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2009年10月1日

新副会長就任にあたり 愉快地美しく暮らす努力 新副会長 森 一郎

9・11テロ、オバマ大統領、リ・マンショック、民主党に政権交代、ハイブリッドカー売れ行き好調、豚インフルエンザの流行とマスク売り切れ、古くは建築構造偽装事件、管理建築士制度、構造一級建築士、設備一級建築士、確認申請の厳密化と行政指導不況そして中国査証の緩和等：：：：事実は小説よりもドラマチックで、めまぐるしい世情。

イソップ寓話のひとつに旅人の服をぬがせるには北風よりも太陽の日差して自ら服を脱ぐ、そこから転じて、物事に対して厳罰で臨む態度と、寛容的に対応する態度の対比を表す言葉。そんな童話の世界の考え方に好意を感じます。

国際観光施設協会の活動も、自ら服を脱ぐ行為のなかに、会社の利益や個人の利益そして社会の利益から観光にかかわる業界、ひいては国家や地球の利益にむすびつくものでありたいとおもいます。

葉山初島ヨットレースは台風一過の9月21日、私たちのクルーも参加、準優勝しました。ファーストホームは新艇で参加の慎太郎、伸晃さん親子にゆずり、分相応のスタンスで八方円満なおつきあいとなりました。ヨットのレースは予断を許さない天候、海流そして船自身の整備のよしあし、そして最も重要なことはクルー全員がひとつの共通の目標を共有すること、そのうえでクルー

一人一人が自分の立場とポジションそして能力を100%発揮してはじめて船は高速で帆走します。常に変化する風の強さや風向きそれらに常時対峙することがもめられます。

協会の活動も似たところがあるとおもいます。不況下でこそ、過去の事例にとらわれない、時勢を直視した活動の姿勢と、協会活動の参加価値に注目すべきとおもいます。好ましい人脈の形成や仕事や個人の信用は短い時間でできるものではありません、長期にわたり意図的に作りあげるものとおもいます。

そして観光は自らが遊び心をもつことが大切とおもいます。論文や学識経験だけではなく、フランス人の誰もが共有するといわれる 暮らしの芸術、いわばフランスのパリの街やシトロエンのあのデザインにあらわれている、いわゆるエスプリといわれるもの。それでこそフランスはインバウンド世界1位をしめ観光立国たるゆえん、日本の16倍、市民一人一人が愉快地美しく暮らすことで他国にない魅力を持ちつづけて、国家収入のたしになっていると。

観光は携わる人が愉快地たのしく仕事を、生活をする事ができるような環境創りがなによりも大切とおもいます。わたしたちも人生を楽しく美しく暮らすことができますよう努力を重ねたいとおもいます。

技術委員会の活動状況と今後の予定 技術委員長 鈴木 裕

技術委員会はホテル都市分科会・旅館観光地分科会・インテリア分科会の3分科会と・観光交流空間のまちづくり研究会で構成されています。

ホテル都市分科会は「ハードからみた都市景観の評価」というテーマで、都市景観をよくするために役に立つハードのデザインについて研究しています。今後は新しいテーマについて研究を行うべく現在テーマ内容につき検討中です。

旅館観光地分科会では「温泉地のまちづくりフォーラム」というテーマで、各地の温泉地を連続して研究し、フォーラムを開いて改善策を提案しています。今年度は芦の牧温泉に加え、以前研究した岩室温泉から再検討依頼があり活動を始めたところです。また、「観光地の整備評価」を行うべく評価方法を検討しています。白骨温泉フォーラムのデータを基に、観光地整備評価ポイント「白骨温泉郷の評価試行」を作成し検討しています。

インテリア分科会では「保存が望まれるインテリア空間について」というテーマで、各地の事例をサーベイし分析しております。最近では東向島地区京島地域の木造長屋の予備調査・東京大学の学内施設の調査研究・拜島の石川酒造の調査研究をおこなっています。

また、「観光交流空間のまちづくり研究会」の今年度冬会は、古きよき昔の佇まいをのこす東京谷中地区で行ない、いつも外人客で満室の旅館「澤の屋」での事例を発表し、インバウンドを増やす秘訣を研究する予定です。



建築部会の活動報告 森 一郎

話題性と集客力のあるテーマをもとめて、そしてなによりも協会活動に魅力を求めて模索中。新年度から活発に活動をされているインテリア部会にならぬ、セミナー企画、施設見学、最新情報、そして企業見学と4つのグループにわけ、会員全員参加を目的に計画。それぞれリーダー、サブリーダーを決め、活動内容検討中。しかし業界の不況もあり、新規施設の開業が少なく、また、参加会員の経費社内節約もあり、低価格で集客力のあるテーマ検討中、建築部会は多岐にわたる業界の会員で構成されており、軌道に乗った活動になっていない。もりあがるのはアフター幹事会の会食会か、とりあえず10月30日美和ロックさん担当でカードキーの先端技術セミナーを予定、スイカカードとホテルフェリカカードキーの行方等をテーマに企画、その他LED照明、日産本社とMM地区、四谷三井ガーデンホテル、錦糸町ロッテ会館、有明サンルートホテル、竹中技研一般公開見学会、解体工事新技術 鹿島、ビル内野菜工場、東京タワー等、また造園会社との協力で、建築と緑化という視点で既存施設の見学等も視野にいれて検討中。

設備部会の活動報告 横山 豊

設備部会は昨年度末に設備部会ワーキンググループ(WG)を作りました。WGは旅館・ホテルの設備保全マニュアルを作成するグループと環境問題を研究する2グループで既に3回開催(延73名参加)されました。保全WGでは保全マニュアル資料の作成を分担して作成中です。環境WGでは環境の法規制に関する講演会等が3回開催され大きな成果を挙げております。年度内にあと3回の開催の予定です。設備部会幹事会はWG開催前の同日開催で年間6回開催し、協会活動報告、WG進捗の確認及び情報交換を行います。秋には施設見学会等のイベントを計画中です。ホテルズ行事に対しては「エコ達人村の無料相談」への達人としての参加協力を行う予定です。

インテリア部会の活動報告 佐藤 英嗣

今年度は現在まで、施設見学会は「豪華客船ドーン・プリンセス」、「龍名館」の2件開催、新情報発信研究会は「臭いについて」(講師; 洞田氏)を開催致しました。

今後は、施設見学「庭のホテル」を10月5日(月)に、「堀木エリ子氏、久住有尾生氏」を講師としたセミナーを11/30開催を予定しています。更に、新情報発信研究会の第3弾(テーマ未定)及び企業見学会(訪問企業未定)を予定しております。是非皆様にご参加戴き、最新の施設・情報等を共有することにより、知識とお互いのコミュニケーションを向上させ、観光施設及び協会の発展に寄与できたらと思っております。

各企画は、協会会員皆様への直接連絡を行いますので、皆様の御参加をお待ちしています。

第38回 国際ホテル・レストランショー

ホテルズ2010が例年通り開かれます。今回は、ショー主催6団体の統一テーマで展開します。それは地球環境が社会問題として、2009年4月省エネ法が施行され「CO₂ 15%」が実施に入りました。

しかし、此の内容の具体的な面は、関連業界として「改正省エネ法は旅館・ホテルに何をもたらすか」をテーマに来場者の疑問に答えるべく展示、セミナーを行います。基本テーマとして「エコ達人村の無料相談」とし各種のエコにつながる疑問にこたえるコーナーを設け、事前にアンケートをとり質問疑問の内容を調べて対応する委員を配します。

事務局からのお知らせ

<忘年交歓会 開催予告>

年末恒例の忘年交歓会が12月7日(月)国立新美術館3Fレストラン「ブラッスリーポール・ボキューズミュージゼ」六本木にて開催を予定しています。詳細は別途改めてお知らせいたします。

<会員名簿訂正>

9月1日現在の「会員名簿」P.13 ゼンテリア(株)「業務内容」の欄を右のように訂正

デッキ、フローリングの 販売及び水周り・内装全般 の施工等

交流部会第95回「ゴルフ会」案内

平成21年秋のゴルフ会は11月12日(木)に春と同じ千葉県市原市の「立野クラシック・ゴルフ倶楽部」にて行います。組数10組、スタート時間8:33(OUT、INとも)概算費用は約¥20,000(キャディフィー、諸経費込み)会費¥5,000の予定です。

厳しい折ですが、こんな時こそ気分転換のためにも沢山の会員の方々のご参加をお願いいたします。

♥編集後記♥

新政権の誕生に伴い、数々の改革案が提示されていますが、9月21日の朝日新聞に「天下り先の公益法人年度末から廃止、仙谷刷新相表明」のニュースが掲載されておりました。記事によると、国家公務員の天下り先になってきた公益法人について、今年度末から順次廃止に踏み切り、不要と判断した公益法人については来年度の運営費交付金の停止も検討する。というものでした。税金の無駄使いの観点からみると結構な政策だと思えますが、これまでの公益事業自体はどうなってしまうのでしょうか。

また、新政権のマニフェストでは、公益法人は原則廃止するとしていますが、私達が目指す公益事業は今後どのような評価をうけるのでしょうか。観光交流空間に関する技術的な評価の判定事業も視野に入れている私達にとって無関心ではられません。

今後の動向を注視したいと思います。 Y.K